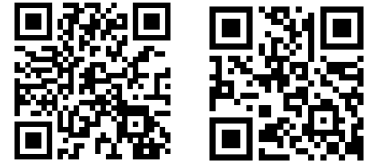


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第181号



2021年11月9日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



合同労組の解雇撤回争議 大詰めへ

合同労組で取り組んでいる解雇撤回争議は、収束に向けて大詰めを迎えています。神奈川労連労働センターの澤田さんから、以下の評価を頂きました。「よく謝罪を細かく会社側が書いてくれましたね。200万円も良く取れましたね、その意味では深井さんの思いをみんなが受け止めたことがあったからと思います。全面的な成果ですね。よく書いていると思います。

(中略) 組合は立会人という意味でよいとおもいますので入れるべきです、とくに今後深井さんの夫さんが残るから、組合の名目を出しておいた方がよいと思いました。とりあえず、澤田の感想です。お疲れ様です。」

また、ローソンの争議では、セクハラに対する謝罪や、オーナー以外からのパワハラ改善を要求する方向で検討しています。

総選挙で野党共闘に大きな成果！

10/31 投開票の衆議院選挙は、市民と野党共闘による政権交代をめざす初めてのたたかいとなりました。自民党は、幹事長や現職大臣等が小選挙区で落選するなど議席を減らしたものの、単独で絶対安定多数の261議席を確保しました。一方、市民と野党共闘の4野党(立民・共産・社民・れいわ)の統一候補は、全体として議席を伸ばすには至りませんでした。多くの選挙区で競り勝ち成果を得たことは、小選挙区制の下で、野党共闘があったからこそその成果です。しかし、投票率は戦後3番目の低さとどまり、自公政治に対

する批判は、その補完勢力である維新に流れる結果となりました。

市民連合と4野党が合意した「共通政策」は、全労連要求とも合致する政策合意となり、政権づくりにまで合意に至った画期的なものでした。しかし、短期間の選挙戦では、この意義が広範な国民に十分に浸透しきれませんでした。

自公と維新の議席 2/3 を超えたもとの、改憲策動が一気に強まることは必至です。来年7月の参議院選挙で、改憲勢力を過半数割れに追い込まなければ歴史的に禍根を残すことになりかねません。

69行動に8名参加！

横須賀原水協は毎月6日に69行動を行っています。11/6(土)は事務局長が所用で不在の中、8人が汐入駅前に集まり、1時間で署名30名、カンパ432円が集まりました。

通常、汐入駅前は反応が悪いのですが、この日はとても反応が良く、時間が来て片づけている最中に、男性が「署名させて下さい」と寄ってくるなど、関心の高さが伺えました。

